

コースコード：RH-RH299

税抜価格：280,000円

日数：4日間

受講対象者

- ・ RHEL6以前のバージョンのRHCE取得者で、RHEL7での再認定を希望する方
- ・ RHCE試験に不合格で、再受験を希望する方
- ・ RHCEトラックコース（Red Hatシステム管理I、Red Hatシステム管理II、およびRed Hatシステム管理IIIまたは同等のトレーニング）を完了し、RHCE認定試験を受ける前に追加的な実践練習を希望する方

コース概要

このコースはRHCE認定試験を受ける前に、実践的な、実技ベースの復習を行いたい受講者のために設計されています。

このコースは、再受験または受験準備をするためのもので、クラスルームトレーニングの受講については、既に完了していることを前提としています。

（講義はほとんど含まれていません）

4日間のコース期間中、受講者は、RHCSA速習コース（RH199）とRed Hatシステム管理III（RH254）の両コースで取り上げた演習を自分のペースで操作します。

いくつかのインストラクターのレクチャを含むRHCE認定試験ラボコースは、systemd、firewalld、およびIPv6などの主要技術を再確認できるように設計されています。

このコースのクラスルームトレーニングやバーチャルクラスルームバージョンでは、インストラクターが、受講生の演習環境での実践的な作業をサポートします。

目的

- ・ systemd、firewalld、およびIPv6などのRHEL7主要技術を再確認する
- ・ RHCE試験に必要な実技を復習する

アウトライン



1. ローカルおよびリモートログイン

システムアクセス方法およびRed Hatサポートの関連付け

2. ファイルシステムナビゲーション

Bash シェルプロンプトからの操作による、ファイルのコピー、移動、作成、削除、および整理

3. ユーザーおよびグループ

Linuxユーザーおよびグループの管理ならびにローカルパスワードポリシーの管理

4. ファイルアクセス権

ACLやアクセス権限を使用したファイルおよびディレクトリのアクセス制御

5. SELinux アクセス権

ネットワークサービスの飽和攻撃などに対して、システムにおけるセキュリティを確保するようSELinuxの動作を管理

6. プロセス管理

Red Hat Enterprise

Linuxシステム上で実行されているプロセスの制御と評価

7. ソフトウェアパッケージのアップデート

Red Hat およびyumパッケージからのソフトウェアパッケージのダウンロード、インストール、アップデートおよび管理

8. ファイルシステムの作成とマウント

コマンドラインからのディスク、パーティション、およびファイルシステムの作成と管理

9. サービスの管理とブートのトラブルシューティング

Red Hat Enterprise Linuxのブートプロセス時のトラブルシューティングとシステムデーモンの制御と監視

10. ネットワーク設定

Red Hat Enterprise Linuxシステム上の基本的なIPv4 ネットワークの設定

11. システムロギングとntp

トラブルシューティングのための関連するシステムログファイルの発見と正確な分析

12. 論理ボリューム管理

コマンドラインからの論理ボリュームの作成と管理

13. スケジュールプロセス

将来の自動実行タスクのスケジュール

14. ネットワークファイルシステムのマウント

NFSやSMBによるネットワークストレージのマウント/アンマウントのためのコマ



ンドラインおよびautofs使用

15.ファイヤウォール設定

基本のファイヤウォール設定

16.仮想化とkickstart

KVM と libvirtによる仮想マシン上のRed Hat Enterprise

Linuxのインストールの自動化

17.iPv6ネットワーク管理

Red Hat Enterprise

Linuxシステム上のIPv6ネットワークの基本的な設定とトラブルシューティング

18.リンク集約とブリッジの設定

ボンディング、チーミング、ローカルソフトウェアブリッジなどの高度なネットワークインターフェース機能の設定およびトラブルシューティング

19.ネットワークポートセキュリティの制御

SELinux および firewalld の高度なフィルタリングテクノロジーを使用したネットワークサービスへのアクセスの許可や拒否

20.サーバーのDNS管理

システムの正確な DNS レコードの設定、検証および安全な DNS

キャッシュの設定

21.E メール配信の設定

システムから送信されるすべての E メールを SMTP

ゲートウェイにリレーし、配信を一元化

22.ブロックベースストレージの配備

リモートディスクとしてネットワーク化されたiSCSIブロックデバイスの配備と使用

23.ファイルベースストレージの配備

特定のシステムとユーザーに対するSMBファイル共有とNFSエクスポートの配備

24.MariaDB データベースの設定

プログラムやデータベース管理者が使用するためのMariaDB

SQLデータベースの設定

25.Apache HTTPD ウェブサービスの提供

トランスポートレイヤーセキュリティ (TLS) 対応のWebサイトや仮想ホストを提供するためのApache HTTPDの設定

26.Bash スクリプトの記述

Bashを使用したシンプルシェルスクリプトの記述

27.Bash 条件文と制御構造

より洗練されたシェルコマンドやスクリプトを書くためのBash条件文や制御構造



の使用

28. シェル環境の設定

Bashの起動をカスタマイズして、環境変数、Bashエイリアス、Bash関数を使用